

私も町といたしまして、大小62回の説明会を開催させていただき、成田空港への期待と騒音の拡大、地域振興策のさらなる取り組みへの不安など、町民の皆さま方のさまざまな声を伺うことができました。法律、線引きへの対応など、取り組みなければならぬ課題が山積していることも十分に認識をいたしております。移転対策や、移転用地の確保など多くの課題に対してしっかりと責任をもち、機能強化に対応してまいります。

今こそ成田空港と地域の、共生・共栄の理念を実現するチャンスです。空港には無限の可能性があります。住民の思いを可能な限り満たし、空港とともに新たな一歩を踏み出していきたいと思っております。

芝山町の取り組み

次に、芝山町独自の取り組みについてご報告いたします。

平成30年度より「小中学校の給食費無償化」を開始いたしました。これは、ご家庭への負担軽減、少子化対策の一環として若い世代への応援を目的としたものです。

また、所定の場所でゴミ袋と引き換えができる「家庭用ゴミ袋無料引換券」を各世帯にお配りし、可燃ゴミ袋60枚分をご家庭へ提供させていただきました。

多くの方の足となる交通網

次に、交通アクセスについてです。デマンド交通「あいあいタクシー」については、昨年6月1日よりこれまでの2台運行から3台運行に増車をいたしました。これと併せて、要望が多くありました「土曜日運行」も開始しております。多くの方の足となり、ご利用をいただきましたと思います。

また、昨年10月から、山武市が新たに実証運行といたしまして風和里しばやまを経由し、山武市役所―京成成田駅を結ぶ、山武ウイングライナーの運行を実施しております。その他にも、海と成田空港を結ぶ空港シャトルバス、大崎駅（東京都）―芝山町役場を結ぶ高速バス、芝山千代田駅―松尾駅を結ぶ芝山ふれあいバス、航空科学博物館―東京駅を結ぶ高速バス、芝山鉄道など、さまざまな交通アクセスがこの芝山町には

あります。この充実したアクセスを多くの方に活用いただければと思います。

より快適なまちづくりへ

現在、芝山町では快適なまちづくりのルールとなる「芝山町都市計画マスタープラン」の作成を平成30年度～31年度にかけて進めているところです。

都市計画とは、都市の健全な発展、土地利用、整備に関する定義であり、人口・産業・環境を保全し、長期的な見通しに立ち、まちづくりに必要な道路や施設を定めて調和のとれた町を作り上げることです。より良い町にするために、具体的な都市計画マスタープランを策定し、芝山町らしさを示すことが我々、行政の任務です。「全ては町民の皆さまのため」をこれからも忘れることなく、町政運営に邁進してまいります。

行政サービスの向上へ向けて

広報しばやまでもお知らせしましたが平成31年度より役場内の「機構改革」を行うこととなりました。

これは、芝山町住民への「行政サービスの維持・向上」、成

田空港の更なる機能強化に対する「まちづくり体制の充実強化」を目的とした組織再編を検討し、将来の芝山町の飛躍を第一に考え、これからの激変期に対応していくために行うものです。

従前からの業務に加え、新たに本町の将来に係わる重要な業務を今後展開していく中、国が推し進めている「働き方改革」への取り組みとも合わせ、職員への取り組みの状況を把握し、適正に方策を調査・検討していきます。また、原点に立ち返り、我々は「全体の奉仕者」であることを再度認識し全庁的な協力体制の確立と連携強化を図ってまいります。

輝かしい未来へ

町には少子高齢化対策や公共施設の老朽化、災害対策、環境保全対策などさまざまな課題があります。私は、その課題から真正面に向き合います。そして皆さまのご協力を得て、これから先の「未来の芝山町」に必要なことを全てやり切り、全ての方が生き生きと暮らせる社会を目指して町づくりに精一杯、取り組んでまいります。

施政方針

平成31年度

3月議会定例会の開会初日である3月5日。冒頭のあいさつに立った相川町長は、平成31年度に向けた所信を表明しました。

過ぎゆく時代

間もなく「平成」という時代が終わり、新たな時代が始まるうとしております。初代、神武天皇から現在に至るまで125代引き継がれている元号は、日本の素晴らしい歴史です。

そしてこの平成という元号最後の年は、芝山町・成田空港周辺にとっても、大きなターニングポイントを迎える年になると思います。

圏央道と成田空港の発展

2018年の10大ニュースでもご報告いたしました「圏央道」「成田空港の更なる機能強

化」について改めてご報告いたします。

①圏央道の共用開始年度が発表されました。大栄―横芝間、18・5kmの開通年度が2024年度と発表されました。そして昨年3月に起工式が執り行われ本格的な工事が始まりました。この大栄―横芝間に3カ所のインターチェンジの建設が予定されています。さらに、圏央道から直接、成田空港へ進入できるスマートインターも計画されています。

道路は、人・物・文化・経済・情報を運び、災害時の安心・安全を運んでくれるものと期待しています。圏央道を大動脈として、空港外周道路や町



芝山町長 相川 勝重

道・県道・機能補償道路をしっかり整備し、町づくりの基礎を作っていくと思います。

②成田空港の更なる機能強化
昨年、3月13日に四者協議会で成田空港の更なる機能強化について合意をいたしました。具体的な内容といたしましては、「騒特法の線引きの変更と範囲の拡大」「谷間地区の騒防法第一種区域への編入と内窓の設置」「A滑走路特別加算金を交付」「周辺対策交付金の増額」「地域振興策の拡大」などです。成田空港周辺の地域づくりのための実施プランについては、千葉県より空港関係市町に今後、示されていく予定です。